

# 議案審査の中から

常任委員会での議案審査の中から、主なものをお知らせします。

## 厚生

9月議会で継続審査となっていた「特定患者への市の援助を求める」陳情は、状況が変わらないままで市の権限は及ばないことから再度継続審査になりました。「汚泥等による有機性肥料製造工場建設に反対」の陳情は、県の調査が済んでいるものの周辺住民の理解を得るには説明不足との意見で継続審査とされました。後期高齢者医療制度について、「秋田県広域連合議会が決めた具体策に基づき市の要望として意見書を出したい」という内容と「国に対しこの制度の中止・撤回を求める」内容の二つの陳情が審査されました。同じ陳情者が制度の中止・撤回と見直しを同時に提出するのは整合性に欠けるという意見が出された後、賛成の立場での討論を経た結果、不採択すべきものと決定されました。

その他、主な質疑は次の通りで



陳情箇所を視察する厚生常任委員会

す。介護保険に関連し「介護認定審査会費の102万円増額補正について」は、「当初開催回数を136回と見込んでいたが介護認定の変更申請などがあり150回ほどの開催が見込まれたための増額」という答弁がありました。「横手病院の増改築事業における償還について」の質疑には「減価償却費と利息を含め約1億7000万円ほどを見込んでいます。そのうち医療器械分は最初の5年間で償却が終わり、後は1億2000万円から1億1000万円ほどになるものと

見込まれる」との答弁がありました。また、将来見通しについて、平成11年度から検討を続けた結果、非常に狭い療養環境の下では将来的展望を見出せず増築が必要という結論にいたった」との答弁があり、全議案が可決すべきものと決定しました。

## 産業経済

県南木材高度加工組合の補助金前倒しの陳情について

平成16年度、組合設立時に木材の需要を喚起して資源を活用するという趣旨があり、一括補助すべきものを5年間の債務負担行為として決めた経緯があります。補助金の前倒しは難しいかもしれませんが、最大限願意の趣旨を認めるべきであるとして採択すべきものとしました。

「福地工業団地」土地処分について  
本来、工業団地にしか使えない土地を農事組合法人に売却することは、目的外使用に当たるので